

つれづれドイツ日記

Danke Schön
ありがとう
Thanks

ダンケシェーン

日本とドイツの間の渡り鳥生活。

そろそろのんびりモードに切り替えて周りを観察しよう。

ドイツにいると感じられることが日本にいる時には感じられなかったり、その逆もあったり、日々感じたことを徒然にブログ日記にしてみたい。



こんなお庭でお茶をいただきながら

ほっこりなごむってのはいかが？

それにしても"なごむ"って言葉、ドイツ語にすると
やっぱり気分でないなあ。

辞書で見ると"なごむ・和む"は文語体となってい
て "nachlassen, sich beruhigen" ところらしいけど
全然"ほっこり"って気分になれないなあ。

でもこれデュッセルドルフのクラインガルテンで見つけたお庭。

言葉では表現できないけど

ここでお茶を飲んでのんびりおしゃべりしているとなんだか和める。

ブログに挑戦

"みんなのすなるブログ日記というもの吾もしてみむとて。。。"

なーんてね。

一体どんなことになりますやら。

まずは初心者コースで練習してみよう。

今日はこれからゴルフコンペ。

Lionsクラブのチャリティだけど私の腕で参加してもよいのだろうか？

足手まといにならないか心配。

一応打ちっぱなしで多少練習はしたものの昔はもう一寸ましだったよな？

ってあたりしか出ないし。。。。

ブログデビューとゴルフコンペデビューが重なったようなもの。

ま 楽しめばよしさ って気で行ってきまーす！

フロリダスクランブル

ゴルフコンペは”案ずるより産むが易し”。

私は予想どおりのメタメタゴルフでもチームメイトがハンデ9 (Konny)とハンデ26 (Catherine)、フロリダスクランブルってゲームルールのおかげでパーとダボがそれぞれ5個ずつ、後はすべてボギーと言う夢のような成績！

この魔法のルールとは？

チーム4人がそれぞれ打ったボールのうち一番良い所に行ったボールを2打目としてそのボールを打った人を除いた3人がその場所で各自のボールを打つ。

そこでまたベストボールを3打目としてこのベストショットを出した人を除いた3人(2打目打てなかった人もここで復帰して) 打つという方式。

スコアは4人で一つのチーム対抗と言うこと。

http://www.leaderboard.com/GLOSSARY_FLORIDASCRAMBLE

我がチームは3人だったので除外者無しでずっと3人で打てることになり、Supershot連発のコニーが抜けてしまうということにはならずやはり有利。

おまけにたまたま足を痛めているコニーのカートにも便乗できたし。

INのほうは競馬場と一部共同使用しているコースなのでフラットだけどOUTは結構広くてヒリー。

9ホールでリタイヤなんてことだけはないように頑張らなければと

悲壮な決意をしていたけど何たるラッキー！

キャディさんはいないのでカート、電動トロリー、手引きトロリー、自分で担いで。。。

などなど各自がBagを持つスタイルには特にハンデもつかずカートに乗ってる私達はめっちゃ有利だったはず！

運動不足だからとずっと自分でトロリーを引っ張っていたカトリーヌは偉い。

スコアメイクはコニーとカトリーヌにお任せスタイルの私でも何打かはチームに貢献できたしカップインも何回かさせてもらったし下手なゴルファーとしてこれほど楽しめるルールっていうのは素晴らしい！

参加者のハンデを総合判断してチーム構成を考える準備はクラブのプロがやってくれたらしいけど結構大変なのではないでしょうか。

日本でもこういうゲーム方式あるのか知らん？

ドイツのゴルフ場では総勢7-80名位の参加者でも貸切にできるから13時開始の合図で各ホールから一斉スタートで始められるので途中で待たされたり追われたりというストレスもなく、5時半位までにはみんな上がってきてそれぞれビールやコーヒーで団欒。

日本のゴルフ場のような大きなお風呂とかはないけど着替える人はロッカールームで着替えたりして18時からの表彰式にと本当にのんびりムード。
まだ21時過ぎくらいまで明るいからってこともあるけどゆったりとゴルフを楽しめる。

かなりスポンサーがついていたせいなのかチャリティーとはいえ結構安い参加費用。
(グリーンフィー込みで一人あたり70ユーロだから約一万円一寸と言うところ。
コンペ前の軽食から練習場でのボール、10ホール目にあるお休みどころでの飲み物から軽食とお菓子、表彰式での食事・ドリンクなどもすべてフリーで至れり尽くせり。。。
スポンサーにケルンのビール会社もついていたのでビアスタンドもあり中々の盛り上がり。
これでそれなりの寄付もできるのだからライオンスクラブの催しとしては結構良いイベントみたい。オーガナイザーは大変でしょうけれど。

コニーのご主人(ハンデ7.5)、フランス人のカトリーヌのご主人と組んだ私の夫は本人最低の出来だったにもかかわらずフロリダスクランブル方式とチームメイトのおかげでなんと優勝までしてしまった！こんなこと考えられない！
”チームメイトとカウント方式が同じならまたコンペに参加しても良いね！”と大いに楽しんだのでした。

アイスホッケーチームのお引越し

日曜の朝だというのに騒がしい。

夕べ近所のEisstadionで何か催しがあったようだからその残党が騒いでいる???

と思いながら散歩の支度をして車で通りへ出ようとしたら通行止め。

そうか。 **DEG** (Dデュッセルドルファー E アイスラウフ G ゲマインシャフト)、

プロのアイスホッケーチームが家の近所のアイススタジアムから4-5キロ先の

新しい ISS DOME に引っ越すお別れパレードだ！

早速カメラを持って飛び出した！なんと言う良いタイミング。

日曜日の散歩に出かけようとした矢先の9時一寸前に

我が家のすぐ近くからパレードが始まるとは！



何年か前にDEGの経営状態が悪くなって

Cash & Carry のMETROがスポンサーとなり

DEG METRO STAR として生まれ変わって

今日 ISS DOME での初試合が始まる。

サッカーのファンと違ってアイスホッケーのファンはおとなしめなので見ていて楽しい。

悲しいことや嫌なことみんな忘れてファンとして一つになれる喜びが満ち溢れている。

なんとなく見ているだけなのにうるうるしてしまう。

町中が応援しているチームと言う雰囲気がありあり。

老いも若きも楽しそう。





Tschüss Bremstrasse

"バイバイ ブレーマー通り"

Hallo ISS DOME

"ハロー ISS Dome" と書いてある看板



写真のアップがなんともおぼつかない

一日に一枚しかアップできないと理解していた昨日の日記の写真のアップだけど
2枚目以降はフォトアルバムにはいるのかと思ったらそのままみんな日記に入ってしまった。
編集の時に短時間だけ赤い字で容量が足りないのとか言うメッセージが出るけど
ちゃんと読めないうちに消えてしまうのでどうしたらよいのかな？
一旦この写真を削除してみた方が良いかしら？
でもアルバムを日記から見れるようにするには？
よちよち歩きのブログ作りだけれど
おかげで今までよりしっかり観察するようになったみたい。
これは収穫！

空港での忘れ物！

昨日デュッセルドルフからベルリン行きフライトに乗る際
こともあろうに1泊用の着替えを入れた手荷物トrolleyをゲートに置き忘れてきた。
ベルリンで降りる時になって気がつくのだからのんきなもの。

しかーし つい最近ドイツでも駅に不信な荷物があって爆弾が入っていたとか
ロンドン空港の件もあったし私の荷物はどうなるだろう???
見つけられても怪しいとして爆破されてしまうかも？
貴重品は入っていないものの明日の着替えは？

Lost & Foundに行ったら"OH, NO"って感じでその反応を見ても
全くまずいことをしてしまったと反省。
ついうっかりが大変なことになった。

ここでは問合せ先電話番号を教えてくださいただけでどうやらたらいまわしになっている模様。
IFAの会場での待ち合わせ時間も迫っているのでまずは見本市へ行って
用事を済ませてからということでタクシーを飛ばす。

デュッセルドルフオフィスのIraに頼んで色々コンタクトとしてもらった結果
(散々たらいまわしされて4時間かかってもまともな返事がないと彼女もカリカリしていたけど
ドイツなんだからしょうがない)
どうやら私のトrolleyはセキュリティの人が発見して警察へ届けた後、
幸いなことに爆破されることなく安全確認がされた模様でベルリンに送られたとのこと。
丁度ベルリンのテーゲル飛行場に爆弾警報もあって誰も電話に出ないので
まずは直接飛行場にとって返して聞くのが一番とのこと。

しかしいくらベルリン行きゲートに置き忘れていたとはいえ
デュッセルドルフ空港にとどめ置くのではなくベルリンに送ったというのは
どういうことなんだろう？
どこかに行ってしまうていなければよいけど。。。

がーん！

Lost & Foundは長蛇の列！爆弾警報の影響？

まさか私の荷物のせいでってことはないよね？

幸いなんとか前に入れてもらえて係りの人に顛末を話して情報を待つ。

色々電話連絡をしている中で

"えっ！ フランクフルトからJFKに向けて乗せられたって？！"

なんて聞いたのでこれはもう戻っては来ないと思ってがっくりきていたら

なんと同姓の人の荷物のことだったらしく

私の荷物は税関の保管倉庫に行っているとのこと

やったー！！！！

ようやくトロリーとご対面。やれやれ。

しかし荷物にTag はつけておくものだと言感。

幸いなことにマイレージの会員IDつきのTagだったので

ベルリンへ即送ってくれたものらしい。

このアクションは素晴らしい！！

Iraのイライラたらいまわしの4時間がなければ

大いにドイツのサービスを褒め称えるのに

インフォメーションが不親切なために折角の感動が半減。

ザンネン！！

昨日はスイスの友人宅でF1TV観戦。

14時から始まるF1の前に郊外をドライブがてら

最近ここジュネーブ近郊に引っ越してきた彼らが家探しの途中

不動産屋さんに教えてもらったシューマッハーの自宅の前を車で通る。

レマン湖畔の膨大な敷地にある豪邸なので車からは道路沿いの立派な門扉と

そこから2-300M離れたところにある門番？の家しか見えなかったけれどすごい！

隣はゴルフ場だし前はレマン湖、

当然専用の栈橋もボートもあるだろうし、

晴れていればモンブランも一望と言う素晴らしい立地にある豪邸。

とはいえこの日彼はイタリアのモンツァでのレースに挑戦していて

この素晴らしい自宅を堪能することはできない。

そろそろ体を張った危険なキャリアで築きあげた家で

家族とのんびり過ごすべきと考えるのは自然のなりゆき。

人間惜しまれるうちが華だし。

フェラーリのお膝元のイタリアGPで優勝しての引退宣言。

エンジントラブルで最終の3周目くらいでアロンソがリタイアなんて

うまくできすぎの感もあるけどおかげで自力でワールドチャンピオンになる

可能性も大になったし。。。

でもまだ上海、鈴鹿 そして最終はブラジルのグランプリ。

"今までを振り返っての感想は？"なんて聞くインタビュアーに

"まだあと3戦あるのでこれに全力を尽くすまで。

その後でゆっくりしたら今までを振り返っての感想もでてくるとは思うけど。。。"

と答える彼の目は結構ウルウルだったな。

帰国しましたー！

やれやれ昨日デュッセルドルフを発ってミュンヘン経由でようやく帰国。

例によって機内では眠れないのでビデオ三昧。

ダヴィンチコードも見たし、行きにお終いまで見れなかった

St.ラルフの他にあと2本見たので計4本。

いつもより1本少なかったのは隣の席の50代位のドイツ人女性と

結構意気投合しておしゃべりしていたから。

サービス精神を発揮して冷酒の飲み方を伝授する都合上、

一緒に冷酒を飲んだので結構ほろ酔い気分。

日本に仕事で出張しているご主人と合流して1週間日本旅行をするのだとか。

彼女が見せてくれたご主人のメッセージが素敵。

彼女も嬉しくて見せたかったってのがありあり。

何日か前に同じ便で日本に行ったご主人と

同じ座席を指定していたからってこともあるけど ご主人が座席前のポケットにある
機内誌の片隅に小さく "XXX Peter" と書いていたらしい。

ご主人の筆跡だと彼女はすぐに察知して私に見せてくれたのだけど

これが "Kiss Kiss Kiss Peter" という意味なんだとか。

しかしこういうやり方で後から来る奥さんにメッセージを残すなんておしゃれ！

奥さんの乗る便に同じ機材が使われるかどうかわからないし、

機内誌だって間の何日間のうちに交換されてしまうことだってあったらうに。

だめもとでもこんなことしてくれるなんてね。

もう50代くらいのマダムだったけどすごく嬉しそうだったな。

朝10時に成田に着くのでこの日は出来るだけホテルの周りを歩いた方が良く

一応表参道経由で明治神宮へ行く道を地図で教えてあげたところ、

さすがドイツ人。

赤坂のホテルから地下鉄を使わずずっと歩いて回るって！

何しろドイツ人にとってのお散歩は日本人にとってはハイキングみたいなものだから

この位の距離歩くのは ま、どうって事ないか。

いちょう通りと銀杏

みなとみらいのいちょう通りも銀杏の実が落ちてきてもう秋の気配。

たくさん実が落ちている木と全然落ちていないどころか木にもなっていないようなものもある。

ドイツでは元々いちょうが珍しいってくらいだけど

”街路樹として植えるとしたらオスの木しか植えない、

実が落ちて滑ったりすると危険だから”と聞いたことがある。

日本ではそういうことは気にせず雌雄の区別なく適当に植えているのだろうか？

山下公園の銀杏だってすごいもの。

秋になるとよく銀杏拾っている人がいたけど あれも横浜の風物詩。

ただ道は汚くなるし臭いし。。。良いことだけではない。

銀杏は美味しいから大好きなんだけどね。

日本ではあまり使っていないみたいだけど

いちょうエキスは物忘れ防止に良いということで

ドイツではこれを使ったサプリメントがたくさん出ている。

TVコマーシャルでいちょうエキスを使ったサプリメントの

コマーシャルを見ない日はないほど。

銀杏好きの私はこのサプリ無しでも大丈夫かしら？

それとも銀杏にはこのエキスは含まれていないのかなあ。

ブログ編集の難しさ

あ~~ くやしい!!!

すごく力を入れて写真つきで久しぶりに書いたのに
IEの不具合とかでアップロードしないうちにIEが終了してしまい
折角書いた今日の分全ておじゃん!
((>_<。))。エーン

ブログ初心者には厳しい現実!
これでこのトラブルもう2度目
前回トラブってめげたのでしばしお休みしていたのを 今日こそ!
と頑張って書いてのにな~~ なさけない。。。

明日もう一度書き直そう。
今日はもうめげすぎて書けない。。。。

Razorback レザーバック

ラジオで聞いた話。

なかなか面白いので忘れないうちに書き留めておこう。

アメリカにいるイノシシは レザーバックといって元々は豚だったのが
野生化してイノシシ風になったのなんだから。

元々アメリカ大陸にはイノシシはいなかったらしい。

ユーラシア大陸にいたイノシシを家畜にして品種改良して生まれてきたのが豚で
この豚を15-6世紀ごろアメリカに持ち込んだのだから。

この豚が何百年かを経てまたさらに野生化して

不思議なことに元のイノシシに近いものになったのだという話。

たてがみみみたいな剛毛が背中に生えていて

この形がかみそりみたくに見えるので

Razor (かみそり) back (背) という名前になったんだそう。

いのししの子供はウリボウでしましまがついてミニいのししという感じだけど
レザーバックの子供は豚に近くて縞々はないのだから。

なんだかややこしいけど面白い話。

ちなみにWikipediaにこのレザーバックのことが載っていた。

<http://en.wikipedia.org/wiki/Razorback>

気を取り直してもう一度書き直し。

先日韓国のIT事情の視察に行ってきた。

技術的にずっと先へ進まれてしまっているというよりは制度的な問題で企業主導型の日本に対して政府主導型の韓国の方が色々と試行錯誤を実践に移しやすく結果として新技術がどんどん実際に使える状態になっているという感じ。



江南区役所では区民の60%以上がメールアドレスを持っているそうでe-Democracy (電子民主主義) まで実現しつつあるというのにはびっくり！

日本でもe-taxが出来るようになりどんどん進歩していると感じていたが韓国では住民票など色々な書類の発給機まであり、これが区役所だけでなく地下鉄の駅、コンビニ、デパートや病院にもあって24時間いつでもどこでも書類が取れる。

自宅や会社のPCからインターネットで証明書をダウンロードすることも出来るらしい。日本では一時住基ネットの是か否かで少々騒いだけれどいまやあまり話題にならなくなっているし。写真付きの住基カードだと身分証明書の代わりになるといわれてそれに e-tax をやる都合もあって作ったけれどこれが意外と役に立たない日本の現状。銀行などでの本人確認はこのカードではできないことの方が多い。写真のない健康保険証の方が身分証明になるのに。。。住基カードのカード面には番号が記載されていない (ICチップの中に入っているから) ので読み取り機がない銀行や郵便局の窓口では本人確認の書類に番号で記録しておくことが出来ないのだ。結構アナログ。



一方韓国ではこの個人情報保護問題の喧々諤々に
煩わされずに政府主導で”とにかくやってみよう”って
形で進んでいっているから電車やバスの切符も
RFIDのICチップの付いたクレジットカード一枚で
何もかも決済できる。
やれスイカとイコカを共通に使えるようにするとか、
パスネットとバスカードも共通になどの問題は はなから
ないみたい。

すごいなーと感嘆する一方、個人の行動が何もかもすべて記録されて
トレースできてしまうということに一抹の怖さを感じてしまうのではあるけれど。。。



郵便窓口も無人で24時間稼働のPostがあるし、
便利は便利なんだけどね。
公衆電話もインターネットが出来るようになっているし。

どんどん便利になっていく一方
本当にこれで幸せなのだろうかと疑問が残る。
デジタル化に取り残されていく人々
機械とでなく生身の人間と話しながら仕事をしたい
デジタル化が進めば進むほど人間的なアナログ的なものを
もとめていくようになっていきそう。

ちょっとなごんで



あまりに頭が疲れたのでカプチーノで一休み。

バリスタのように無理だけど教えてもらった通りに挑戦してみよう。

奥が深いなあ！

ブログ初心者としてはまだまだよちよち歩きでびっくりすることばかり。

あっという間に時間が過ぎてしまう。

みんなどうやってこの時間を作りながらきっちりお仕事もやり、

ブログの中身もきちんと書いているのでしょうか？

ブックマークとかアンテナとかグループとか。。。 ???

まさしく私の頭の中は”はてな”が飛び交っています。

ブログをしっかりマスターするまではまだまだ

なごめそうにない 今日この頃です。



昨日うまくあっぷできたので可愛いカプチーノ
をもう一杯！

第一印象と仕事

保険の更新案内に来社した人。

ピンポンとチャイムが鳴ってモニターを見た時にガムを噛み噛みの顔が映る。

お客さんを訪問するのに”失礼”という第一印象を持ってしまったせいか、

お会いしてからのお話がいちいち気になる。

”御社のご担当だったものがやめてしまったのでよくわからないのですが。。。 ”

”期限が迫っているのです。。。 ”

”見積もりはお出しすることは出来ますが。。。 ”

”解約の場合 ほんのちょっととは思いますが多少の解約返戻金はあると思います。 ”

”変更は可能ですが最低金額は多分〇〇円だとおもいます。 ”

などなどこちらの判断材料がはっきりしないので出直してもらうことにした。

あんな答えて ”はい そうですか”と解約するなり、更新するなり してくれるクライアントはいるのだろうか？

前任者が退社したとしてもアポイントを取って来社する以上、更新の場合の提案書とか解約の場合にどうなるのか きっちり用意してくるのが常識では？

第一印象でこの人はプロ意識がないなと感じたそのままの話の展開だったので

こちらも揚げ足取りのようだと思いながらも明確な答えを求めて再三質問してしまった自分自身にもなんとなく後味が悪い。

この大雨の中を折角来てくれたのだからと思いながらも解約した方が無難かな？ と考えてしまった。

人の振り見て と自戒した今日のMeeting

ドイツの月は？月の満ち干の見分け方

連休最後の日、翌日ドイツに帰国する友人一行と浅草で待ち合わせ夕食に出かけた。

汐留のレストランの予約時間までちょっと時間があつたので表参道の散策をすることにした。一行の中に建築家があつたので表参道ヒルズ、TOD'SやDiorのビルに大感動！こんなに喜んでくれるのなら案内のし甲斐もあるってもの。

帰る前日だからかお土産を買いたいというのでオリエンタルバザールへ。

丁度Diorのビルの隣にあるこの店はDiorビルを建てる時に一緒に建て直したのかずいぶんと綺麗になっていた。

元々外人向けのお土産を買うのには手ごろなお店なので結構愛用しているのだけれどちょっとしたお土産が結構安い！

日本はデフレか？って感じもあるけど何しろユーロが高いものね。

(ドイツ人が日本に来るには今が一番安上がりでは?)

皆嬉々として湯飲みのセット、盆栽キット、漢字入りのTシャツなどなど"この人達ほんとにドイツ人?"と思うくらい買い物しまくり！

各自大きな買い物袋を抱えてようやく原宿駅からJRで新橋に出て汐留タワーへ。

42階のレストランからの眺めに一同"ウワーオ!!"

全て目論見どおり喜んでもらえた。満足。満足。

丁度満月から1-2日経ったお月様の光をこうこうと浴びながら楽しく食事をしているうちにこの間別のドイツ人から聞いた話を彼らに確かめてみた。

"日本で月が満ちていく時はドイツでは月が欠けていくんだ"って。

丁度日本とドイツでは月の満ち干が反対になるって言うの。

エー?? ホント??? と思いながらなかなか本当のところがわからないままですっきり出来なかった問題。

翌日ドイツに帰る彼らにドイツの月を見てもらってレポートしてもらえれば解明できる。

早速昨日メールで知らせてきた。

"ドイツの月もやっぱり欠けていく途中だよ"って。

だよー。

あーすっきりした！

ちなみにドイツの人達は月の満ち干の見方を "a" と "z" で見分けるように習ったらしい。
(若いドイツ人はこの便利な見分け方あまり知らない感じだけど)



abnehmend (欠けていく) の"**a**"

筆記体で書くと向って左側が丸くて右側がいびつになっている状態を
月にあてはめて "**a**" ならこれから月が欠けていく状態。



逆に向って右側が丸くて左側がいびつになっているのは

"**z**" (**zunehmend**) で満ちてくる状態。

"**z**"の筆記体 頭のところ左側はあいていて 右側が丸いでしょう。

夫もおじいちゃんに習ったとか言って私にこの月の見分け方を教えてくれたけど
この覚え方はなかなか便利。
結構知ったかぶりできる。

ブログと気づき

いつも通る道が工事中だったので1本手前の道を左折して見るとこれがなかなか面白い。

いつも見る景色とはちょっと違うものが見えたり。。

毎日の暮らしの中でも多少こういうことは右脳の刺激にもなることだし大いにやるべきかもね。

昨日はBigsightへの行き帰り”ゆりかもめ”を堪能した。

やはり最前列に乗って景色を眺めるのが一番。

今までは大抵誰かしらと一緒にしかもそれが外人だったものだからサービス精神が先にたって案内や説明に気を取られて自分自身がゆりかもめ乗車を楽しむということがなかったのだと思う。

一人でしかも時間的に余裕を持って乗ってみるとこれはなかなか。

やはりまた海外から誰か来たら是非案内してあげたいところ。

特に今回気が付いたのは各駅にそれぞれシンボルマーク的な文様が入っていたこと。近代建築物に日本古来の伝統文様を用いることで心の和む駅になることを期待してとの意向かららしいけど

私の心はこれで結構和んだことは確か。

しかしゆりかもめのシンボルマークにしるこの江戸文様にしろ

折角のデザインなのだからもう少しアピールしたらよいのにもったいない！

私だけの気づきではないとは思いますが画像を探すのに結構苦労したのでこの際ブログにあっぷしておきましょう。



新橋駅は柳

青海駅は 私の好きな青海波



写真をアップするのが結構大変なのでサイトにリンクすればよいということに気が付いた！
以前にもやったことがあるのにすっかり忘れていた！

<http://www.yurikamome.co.jp/contents/hp0024/index.php?No=28&CNo=24>

ブログを書き始めたことで今まで何の気なしに見ていて見逃していたことを意識するようになった。ブログの効用

健康が一番

パリから一時帰国した親友とランチ。

昨年のクリスマス前にご主人を亡くしたばかりなので話がどうしても”健康”テーマに傾いてしまう。これも歳相応ということ？

フランスには ”こんな小瓶はないから持ち歩きは出来ないけど日本は便利だねえ。”

とContrexの500ml ビンをBagに入れてチョコチョコ飲んでいる。

そうか。こういう便利な小瓶は向こうにはないのか？

Volvicはドイツでも小瓶があるけどな。

Golf の時などには便利に使っているけど

Contrexが小瓶を出していないということなのかな。

Health コンシャスというよりスタイルコンシャスのせいかしら？

ダイエットには Contrex とか良く聞くけど硬度が高いのか

私には Volvic のほうがずっと飲みやすい。

ミネラルが沢山入っているからダイエットには Contrex ってことらしいけど

(まあ宣伝力のせいかもしれない)

飲みやすい結果 沢山飲める方がやはり体に良いのではないかと思う。

わが夫の持論は1日3リットル位飲むべきというのだけれど、

夏はいざ知らずなかなかそんなに沢山は飲めない。

だから好きなお水を飲むのが一番。

味は好みがあるから人それぞれなんでしょうが。

ご主人のご病気についてはあまり詳しく聞くのとはばかられたけど

年齢も身長・体重もほとんど同じような夫のことを考えるとやはりつつい

話がそっちへ行ってしまう。

彼女の話によるとやはり成人病（今は生活習慣病というのか）で

血液ドロドロで血栓が出来てそれが色々悪さを惹き起こしということらしい。

やはりお水を沢山飲んで血液サラサラにしなくては！

なんとなくお水を沢山飲んで血液が薄まるとサラサラになるような気がするのは

素人考えとは思いますが。

私だって去年の健康診断の時より今年の方が太ってしまった。

お水だけではなく食事もう少し気をつけなければ。。。

TV見ながらのつまみ食いはやめよう。

今何を食べているのか、

もう少し意識をして食べないとあまりにも無意識に色々なものを食べ過ぎている！

反省。

何事ももう少し”意識”してやろう。

何でも食べ放題、飲み放題、読み放題、見放題と
無意識に色々なものを消費しすぎているようだ
時々思い出しては意識をしようとするのだけれど喉元過ぎれば。。。
空気だって、水だって、家族や友人の愛情だってもう少し感謝して、
意識して受け止めなければいけないもの。

しかし15年ぶりくらいの帰国の彼女、JRの切符を買うにも結構まごついたらしい。
ちょっと横から皆どうやって切符を買うのだろうと観察してから
おもむろに自販機のところへ行ったけれどもやはりわからず困った。との話。
光景が目には浮かぶ。

オレンジカードが出たと思えば IOカードとなりそれがスイカだ携帯だと
進歩はめまぐるしくて日本語のわかる日本人の彼女でさえまごついてしまう始末。
デジタルデバイドもこういうことなんだろうなあ、
わが両親もATM、携帯、E-Mail、Skypeまでは何とかついて来れたけど
これからの進歩についてこれるだろうか？

体の健康だけではなく精神とか脳の健康も考えなくてはね。

おいしかった！

携帯で送った写真を回転させて見やすくするにはどうすればよいのかな？

いずれにしても私たちの横浜の夜は楽しく健康的に更けて行った。

明日は結婚記念日だというのに台湾へ出張する夫と横浜の夜を満喫。

以前にも行って大いに気に入っていたのだけどしばらくご無沙汰していたレストラン”デピス”。

残念ながら昔ミュンヘンの領事館でコックをしていたからドイツ語が出来て

夫を喜ばせてくれたシェフは7月に転職してしまって既になかったけれど

お料理のパフォーマンスは相変わらずになかなかの満足度。

秋の夜長のお散歩がてらみなとみらいから桜木町、馬車道と

”味噌ラーメン”を求めて歩いているうちに

(MM地区のラーメン屋さんには味噌ラーメンがない？)

”そうだ！折角ここまで来たのなら”ということで”デピス”へ。

折角の記念日の前夜祭、

やはり味噌ラーメンというよりもう少しおしゃれに。。。ということで。

BUTZというデパ地下に入っているお惣菜やさんの経営なんだとか。

”デピス”にきたら座るのは絶対カウンター！

オープンキッチンで忙しく立ち働くシェフたちの盛り付けの工夫とか、

つけ合わせのアイデアとか

ホームパーティーでやってみよう！と思わせる”技”が沢山見れて飽きることがない。



この前菜プレートも (写真が不鮮明で残念だけど)

すごくきれい！

真ん中に載っているのは江戸菜。

ロースとビーフに自家製のジンジャーソースをかけたもの、

たこのカルパッチョ、きのこのマリネ、真鯛のカルパッチョ、

そのほか忘れてしまったけど和洋、そしてお肉、魚、

野菜を取り混ぜた9種類の前菜が綺麗に盛り付けられている。

これだけでも大満足。

このほかにこの日のパスタがアマチャトリアーナの

リングイネ、鶏肉の北京ダック風も美味しかったし、

(何よりもスパゲティの上にたっぷりのサラダを乗せて

くれるのは私たちの大好きな食べ方！)

デザートはしょうがのアイスクリームもなかなかのもの。



夫の頼んだ黒ゴマプリンの飾りつけはそれほどの感動は誘わなかったけど
アイスクリームのデコレーションは ”ストーンアイス”顔負けのトッピングの
多さとそのデリケートさに感動。

カウンターで見ていると本当に liebevoll 心を込めて盛り付けしてくれていて
見ているだけで気持ちが和んでしまう。

日本人ってやっぱり仕事が丁寧。

あー！ おいしかった。

つれづれドイツ日記

<http://p.booklog.jp/book/34888>

著者：ダンケシェーン

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/nagomi-chan/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/34888>

ブックログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/34888>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.